

NORIKAZU AKIRA

亜樹良のりかず

【トリガー】

# TRIGGER







# CONTENTS

TRIGGER

5

【GuiltyXX vol.4('06年5月)掲載】

steal me

29

【ReRosa('05年8月)掲載】

risky bet 前編

53

【ReRosa('06年12月)掲載】

risky bet 後編

73

【描き下ろし】

手のひらの上の僕

97

【小説ショコラ('06年5月)掲載】

メガネのチカラ

121

【GuiltyXX vol.5('06年8月)掲載】

マイ・フェア・プリンス

137

【GuiltyXX vol.6('06年11月)掲載】

お気に召すまま

161

【小説ショコラ('07年3月)掲載】

Fever

185

【描き下ろし】

あとがき

194

【描き下ろし】



# TRIGGER

トリガー



ありました  
裏帳簿と  
売上金です



店の売上を  
ごまかして自分の  
懐に入れてた…と



始末しますか？  
— 加賀美さん

…いや



スナッフビデオ  
にでも出すか

楽に死ぬ  
ないかな



…今回も  
また

直接手を  
下させません  
でしたね

ヤクザは  
殺し屋じゃない  
だろ澤田さわだ

それに



血を見るのは  
好きじゃない

なんでこの人  
若頭なんだろう

——俺が  
学生の頃

工場を経営して  
いた親父が借金  
を苦に自殺した

工場を売却した  
金と保険金で  
借金は清算  
されたが

何もかも虚しく  
なった俺は荒れて  
職にも就かず街を  
フラついていた

——そして酔った  
チンピラと殴り  
合いになった時

そんなに暇なら  
組<sup>ウチ</sup>来るか？

…暇なら？

——こうして俺は  
てんどう よっほし  
天堂会系四橋組  
(当時)若頭補佐  
加賀美に拾われた



四橋組の下っ端を数年  
その後若頭に就いた  
加賀美さんの下に付く  
ことになり

…澤田  
珈琲飲みたい

二年程側近をし  
ているが—

つくづく変わった  
人だと思う  
(ヤクザ以前に)

…缶じゃない  
やつですね？

はい澤田  
……はい

分かりました  
戻ります

加賀美さん  
今日は缶珈琲で  
我慢して下さい

—え？



入院していた  
先代会長が

先程亡くなら  
れたそうです



先代つっても  
俺が入った頃はもう  
入院してたから

本人見た  
ことねエし…

！  
俺達も  
戻りましょー



—



…はい

—車に  
戻るぞ澤田



驚き過ぎ  
だろ俺…

—何んか

……?  
ド  
ド  
ド

見惚れてしまった自分に気づき

動揺してしまつた

葬儀の日以来  
加賀美さんになつた  
様子はない

むしろ——

おかしく  
なつたのは  
俺か…？

はい

！



加賀美には  
気付かれてない  
だろうな？

はいご指示  
通りに…

—会長



直々に  
呼び出したのは  
他でもない

サイレンサー  
付きの銃だ  
…これで

内密に事を  
進めてもらい  
たくてな

加賀美を  
消してくれ



—はい？

恥ずかしい話だが  
加賀美はかつて

先代の愛人  
だった男だ

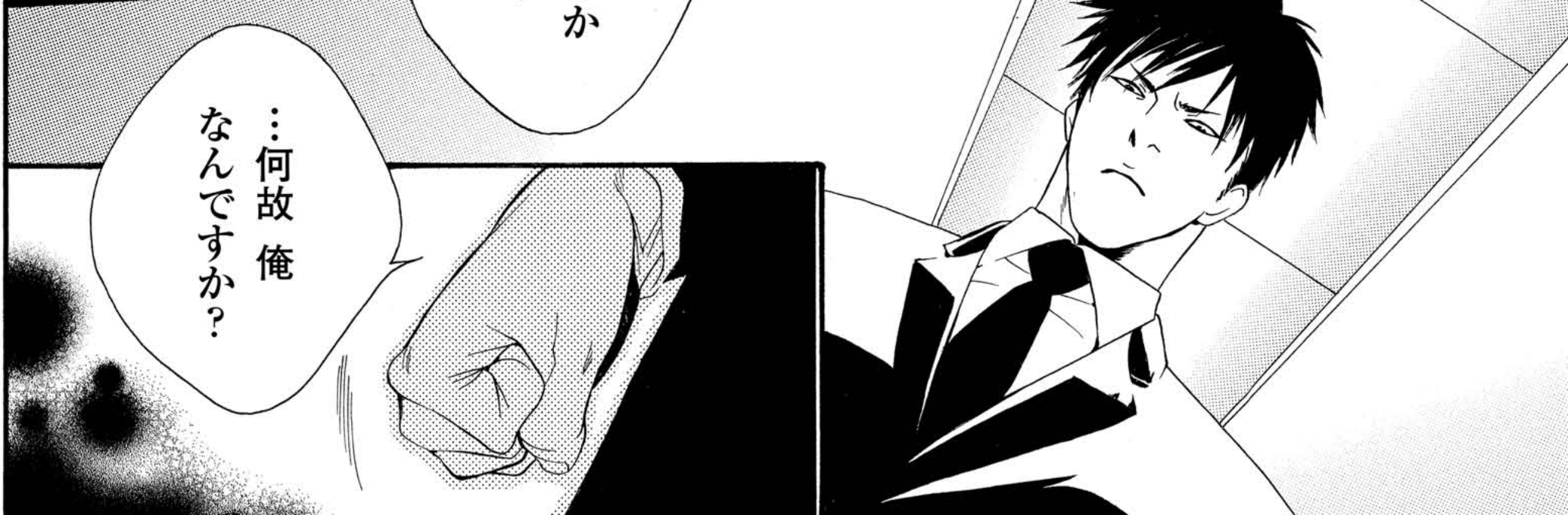
先代の弟の俺  
にとっては忌々しい  
存在でしかない



兄が亡くなった  
今なお更目障り  
なだけだ…が

内情を知って  
いる以上放り出す  
わけにはいかん

消すしか  
ない…



…何故俺  
なんですか？

——お前は  
知らなかった  
らしいが

親の仇を  
殺<sup>と</sup>ってこい——

お前の親父を  
自殺に追い込んだ  
ヤミ金……

その中の一つは  
当時加賀美が  
仕切っていた会社だ

——加賀美さんが  
直接親父に手を  
下したわけじゃない

複雑だが  
拾ってもらった  
恩もある



…っつーか

そんなことは  
どうでもいい

加賀美さんが  
先代の愛人だった  
と聞かされた時

俺は死んだ  
先代に嫉妬  
した

たぶん あの葬儀の日

加賀美さんの涙を見た時

俺は加賀美さんに惚れてしまった

それを  
自覚したのが

殺すように  
命ぜられた  
時だとは…

——くそっ

どうすることも  
出来ねーじゃ  
ねーかよ…





——でも例え俺が殺<sup>や</sup>らなくても

他の人間が彼を殺<sup>や</sup>ることに…

誰かに委<sup>ゆ</sup>ねる位なら

いつそ俺がこの手で

…また  
珈琲ですか？

これから寄って  
欲しい所が  
あるんだが…

珈琲は  
その後だ

先<sup>ま</sup>ずは  
先代の墓参り

後藤家七郎

……

——死んだ  
人間に妬く程  
虚しいものはないな

だがそれも  
今日で——

…澤田



—はい

先代の葬儀の時  
何故俺が  
泣いたと思う？

…哀しかった  
からでしょう

愛人ならなお更—



死んでくれて  
ホツとしたんだ

やっと愛人の  
座から解放  
されると思ってた…

—逆だよ

—!?




ひがね  
引き鉄を  
引け 澤田

!




——気付いて  
たんですか？




会長は俺が  
目障りで仕方  
無かったからな

先代が死んで  
からは覚悟は  
していた




じゃあ何故  
逃げなかった  
んですか!?



まさかお前を  
使ってくるとは  
思わなかった

俺が逃げれば  
事情を知った  
お前は殺される

それだけは  
避けたかった



好きなヤツの  
為に死ぬのも  
悪くない

\*この続きは製品版でお楽しみください。

本作の内容はすべてフィクションです。実在の人物、事件、団体などにはいっさい関係がありません。

書名 TRIGGER 新装版 (サンプル)

---

著者 亜樹良のりかず

発行所 株式会社 心交社

住所 〒171-0021

東京都豊島区西池袋3-25-11 CIC IKEBUKURO BUIL 5階

発行日 2016年2月25日

---

© 2016 Norikazu Akira

※本書の無断複写・複製・転載を禁じます。